

保育園死亡事件事例

日時	事故概要	事故状況
2006.07.25.	ミニトマトで1歳 女児窒息死	<p>静岡県東伊豆町の「稲取保育園」(鈴木八重子園長)で、1歳の女児がミニトマトをのどに詰まらせて窒息死していたことが27日、分かった。下田署などによると、25日午前10時半ごろ、女児は園庭で遊んでいて、急に苦しみました。職員が119番し、ドクターヘリで同県伊豆の国市の病院に搬送したが、間もなく死亡したという。女児ののどからは、直径約2センチのミニトマトが見つかった。</p> <p>園庭ではミニトマトを栽培しており、同署はミニトマトを女児がのみ込んだとみて職員から事情を聴いている。</p> <p>当時、園庭では保育士7人と実習生3人の10人が、女児を含む3歳以下の園児約30人を遊ばせていたという。</p>
2006.01.16.	屋根からの落 雪で6歳男児 死亡	<p>16日午後1時45分ごろ、福島県下郷町豊成の町立しもごう保育所(五十嵐勝幸所長)で、園庭で遊んでいた6歳と5歳の男児が屋根(高さ約7メートル)から落ちた雪に埋まった。2人は約20分後に助け出され病院に運ばれたが、6歳の男児は同日夜に死亡、5歳の男児は一時意識不明だったが回復し、軽いけが。2人の近くにいた6歳の男児も固まった雪が頭にぶつかり、頭を切るけがをした。</p> <p>→<続報> 福島県下郷町の町立しもごう保育所で1月、屋根から落ちた雪に埋まり、男児3人が死傷した事故で、県警捜査1課と南会津署は16日、当時の同保育所長で現下郷町公民館長の五十嵐勝幸容疑者(55)ら4人を業務上過失致死傷容疑で福島地検会津若松支部に書類送検した。</p> <p>ほかに書類送検されたのは、当時の同保育所保育係長(52)と、死亡した園児の担任だった33歳と40歳の保育士2人。(2006.6.16.)</p>
2005.08.10.	本棚で熱中 症?かくれん ぼ4歳男児が 死亡	<p>10日午後0時25分ごろ、埼玉県上尾市本町の同市立上尾保育所で、4歳男児が、廊下の本棚の中でぐったりしているのを、所長(59)が見つかり119番通報した。病院に運ばれたが、約1時間半後、死亡した。死因は熱中症とみられる。</p> <p>上尾署によると、昼食をとろうとした午前11時30分ごろ、男児がいないことに所長が気付いた。所内を捜したところ、廊下の本棚(高さ1・2メートル、横90センチ、奥行き43センチ)の下段の物入れの中に座った状態でぐったりしている男児を見つけた。友人らとかくれんぼをして遊んでいたらしい。</p>
2005.04.19.	3歳園児、水泳 講習中にプー ルでおぼれ死 亡	<p>十九日午後二時半ごろ、福岡県大牟田市草木の大牟田スイミングスクール(重松隆社長)で、みずほ保育園の3歳園児が、プールの底に沈んでいるのを同スクールのコーチが見つけた。病院に運ばれたが約三時間後に死亡した。大牟田署は死因の特定を急ぐとともに、安全管理について関係者から事情を聴いている。同署の調べなどによると、章ちゃんは同日午後二時から、二十五メートルプール(水深約一メートル)で、同園など二保育園の園児約五十人を対象にした水泳講習に参加していた。園児らは小グループに分かれ、それぞれに同スクールのコーチが付いて指導。章ちゃんのグループはプールサイドの縁を両手でつかみながら横に移動する練習中だった。足元には補助用のプラスチック製台(高さ四十センチ)が置かれていたが、担当コーチが気づいたときには、章ちゃんはプール側壁と台のすき間に沈んでいたという。</p> <p>→<続報> 大牟田市内のスイミングスクールで園児が水死した事故で、大牟田署は31日、スイミングスクールの経営者や当時のコーチら3人を業務上過失致死容疑で書類送検した。(2006.2.1.)</p>

2004.11.17.	園外保育中の6歳園児、川に転落し死亡	<p>東京都世田谷区玉川3の多摩川河川敷にある区立兵庫公園で、区立新町保育園園児6歳(女児)が誤って多摩川に転落した。警視庁や東京消防庁などがヘリコプターで捜索し、約2時間後に1.5キロほど下流の同区野毛2付近で浮いているところを発見。同消防庁の水難救助隊員らが救助したが、午後6時に病院で死亡が確認された。同区では当面園外保育を中止、再発防止に取り組むという。</p> <p>→<続報>東京都世田谷区の多摩川河川敷で昨年十一月、同区立新町保育園の女児＝当時(6つ)＝が園外保育中に川に転落、水死した事故で、警視庁捜査一課と玉川署は、安全管理を怠ったとして同保育園の前園長(56)と、引率していた三十四歳と三十二歳の元保育士二人＝今年三月末に退職＝を業務上過失致死の疑いで書類送検する方針を固めたとのこと。(2005.08.12.)</p> <p>→<続報>世田谷区は2006年3月9日、いずれも当時の保育園長(56)と主任保育士(56)を停職3カ月、区の部長ら2人を戒告処分にしたと発表した。主任保育士と女性保育士2人の計3人で園児19人を引率していたが、主任は会議に出席するため事故前に公園を離れており、女性保育士も園児の飲み物を取るためその場を離れるなど、監視を怠った。</p>
2004.08.20.	学童保育の8歳男児、割れたガラスが胸にささり死亡	<p>広島県福山市立山手小学校の放課後児童クラブ(学童保育)で、8月20日午後4時ごろ、小3男児が学校の廊下のガラス戸にぶつかり、割れたガラスが左胸部に刺さって、病院で手当を受けたが約3時間後に出血多量で死亡した。事故当時は清掃中で、男児はガラス戸に飛びつく遊びをしていた。</p>
2002.09.18	屋上駐車場から転落したワゴン車の下敷きになって3歳園児死亡	<p>名古屋市緑区の私立「めぐみ保育園」で、保育園に孫を迎えに来た男性(78)が運転を誤り、屋上駐車場の鉄さくにご二度衝突して、3.6メートル下の園庭に転落。整列していた3歳園児が下敷きになって死亡、園児1人が重傷を負った。男性は、業務上過失致死傷罪で罰金50万円の略式命令を受けた。</p>
2002.07.30	1歳女児がベッドを覆っていた板に首を挟まれ死亡	<p>午後0時40分頃、新潟市紫竹山の無認可保育園「小林乳児園」の2階で女児(1歳11カ月)が寝たのを保育士が確認し、仕事をするために現場を離れた。1階で仕事を済ませ30分後に戻ったところ、ベッドの内で立ち上がった女児が柵に手をかけたままベビーベッドとベッドの上を覆っていた合板のあいだに首を挟まれてぐったりしていた。死因は首圧迫による窒息死。女児が寝ていたベッドは縦106cm、横76cm、脚を除いた高さ75cmで、市販ではなく手製であった。合板は縦121cm、横65cm、厚さ0.4cm、重さ約5kgで、使わなくなったベッドの底板であった。</p>
2002.5.21.	押し入れ内の椅子に挟まり、一歳男児窒息死	<p>鳥取県羽合町(現湯梨浜町)立橋津保育所のほふく室内で、同室内にいた保育士が気付かない間に一歳男児が押し入れに入り込み、下段に置かれていた牛乳パック製の長いすの上に倒れていた。保育士が気付いたときには呼吸停止状態で、救急車で病院に運ばれたが翌月、多臓器不全で死亡した。</p> <p>→<続報>同町や保育士らが監視義務と安全配慮義務を怠ったのが原因として、男児の両親が保育所を運営する同町を相手取り、慰謝料など約五千七百七十七万円を求めていた訴訟の判決が2004/4/12、鳥取地裁であった。山田陽三裁判長は原告側の主張をほぼ認め、湯梨浜町に対して約三千五百六十万円の支払いを命じた。</p>
2001.10.17.	リンゴをのどに詰まらせて、一歳園児死亡	<p>千葉県船橋市市立緑台保育園で、一歳男児がリンゴをのどに詰まらせて死亡した。</p>

2001.01.19.

箱型ブランコ下敷き,4歳園児死亡

島根県益田市七尾町の私立益田幼稚園(永見勝徳園長、園児百一人)で、昼休みに園庭の鉄製ぶらんこで遊んでいた4歳男児が、ぶらんこの下敷きになり頭などを強く打ち、市内の病院に運ばれたが約四十分後に死亡した。益田署などの調べでは、翔ちゃんは昼食を終えて園庭北側にある舟形の鉄製ブランコ(長さ三メートル、幅〇・八メートル)に四人の園児と乗り遊んでいたという。その後、何らかの原因であおむけのままぶらんこの底板と地面に上半身を挟まれたらしい。詳しい原因などは調査中。同園によると、園庭では当時、翔ちゃんと同じ年少組(二十五人)の園児約十五人が遊んでおり、女性教諭が園児を監視していた。この教諭がほかの園児の面倒を見るため、ぶらんこ周辺から目を離した間に挟まれていたという。

出典：川崎・保育園ファイターズ「資料室」